


香川の
土地改良



発行所
香川県土地改良事業団体連合会
高松市番町 2 丁目 4 番 27-301 号
TEL (087) 822-0303
FAX (087) 851-1787
<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



空ちゃん田んぼ（東かがわ市）

目 次

1. 平成 27 年度農林水産予算概算要求2~3
2. 農業集落排水事業[機能強化対策]について4~5
3. 田んぼの学校・かかし作り6
4. 第 7 回コスモス祭り開催 ー野間田東環境保全組合ー6
5. 土地改良区だより 高松市西植田土地改良区7
6. お知らせ/会と催し8

平成 27 年度 農林水産予算概算要求

去る 8 月 30 日、農林水産省の平成 27 年度予算概算要求が発表され、農林水産省予算の総額は、対前年度比 114.1% の 2 兆 6,541 億円、このうち、公共事業費は 8,038 億円（対前年度比 122.2%）、非公共事業費は 1 兆 8,503 億円（対前年度比 110.9%）となっている。

区 分	26 年 度 予 算 額	27 年 度 要 求・要 望 額	対前年度比
	億円	億円	%
農林水産予算 総額	23,267	26,541	114.1
1. 公共事業費	6,578	8,038	122.2
一般公共事業費	6,386	7,846	122.9
災害復旧等事業費	193	193	100.0
2. 非公共事業費	16,689	18,503	110.9

注) 係数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

また、公共事業費のうち、農業農村整備事業は対前年度比 125.4% の 3,371 億円、農山漁村地域整備交付金は 1,335 億円（対前年度比 119.0%）、海岸は 48 億円（対前年度比 119.0%）等と大幅な増額要求となった。

区 分	26 年 度 予 算 額	27 年 度 要 求・要 望 額	対前年度比
	億円	億円	%
農業農村整備	2,689	3,371	125.4
林野公共	1,813	2,233	123.2
水産基盤整備	721	859	119.0
海 岸	40	48	119.0
農村漁村地域整備交付金	1,122	1,335	119.0
一般公共 計	6,386	7,846	122.9
災害復旧等	193	193	100.0
公共事業費 計	6,578	8,038	122.2

概算要求の重点事項（農村振興局関係）

予算総額 5,961 億円

農林水産省の平成 27 年度概算要求の重点事項のうち、農村振興局関係の主要な概算要求事項及び要求額は次のとおりである。

1. 担い手への農地集積・集約化等による構造改革の推進

(1) 農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化

- ①農地の大区画化等の推進<公共> (農業農村整備事業で実施) 1,429 億円
農地中間管理機構による農地の借受け・貸付けとの連携により、農地の大区画化・汎用化等を推進

2. 強い農林水産業のための基盤づくり

(1) 農林水産業の基盤整備（競争力強化・国土強靱化）

- ①農業農村整備事業<公共> 3,371 億円
農地集積の加速化、農業の高付加価値化のための農地の大区画化・汎用化や水路のパイプライン化、老朽化した農業水利施設の長寿命化・耐震化対策等を推進
- ②農山漁村地域整備交付金<公共> 1,335 億円
地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策を支援

3. 人口減少社会における農山漁村の活性化

(1) 日本型直接支払の実施

- ①多面的機能支払交付金 483 億円
農業者等で構成される活動組織が農地を農地として維持していくために行う地域活動や、地域住民を含む活動組織が行う地域資源の質的向上を図る活動に交付金を交付
- ②中山間地域等直接支払交付金 300 億円
中山間地域等における農業生産条件の不利を補正するため、超急傾斜地を含む条件不利地域での農業生産活動を継続して行う農業者等に交付金を交付

(2) 他省庁と連携した集落のネットワーク化、定住の促進

- ①農村集落活性化支援事業【新規】 10 億円
地域住民が主体となった地域の将来ビジョンづくりや、集落営農組織等を活用した集落間のネットワーク化により、地域の維持・活性化を図る取組を支援
- ②山村振興交付金【新規】 15 億円
山村の雇用・所得の創出に向け、薪炭・山菜など未利用資源の活用、山村景観などを活かした地域の魅力づくりなどの取組を支援

(3) 都市と農山漁村の共生・対流等

- ①農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 80 億円
農山漁村における定住・地域間交流を促進するための生産基盤、農産物加工・販売施設、地域間交流拠点等の整備を支援
- ②美しい農村再生支援事業 10 億円
中山間地域等における棚田・疏水など将来に残すべき農村風景・資源を保全・復元・継承するための取組を支援

(4) 再生可能エネルギーの導入促進等

- ①農山漁村活性化再生可能エネルギー導入等促進対策 (農村振興局分) 9 億円
再生可能エネルギー発電事業による収入を地域の農林漁業の発展に活用する取組や農業水利施設を活用した小水力発電等に係る調査設計等を支援

農業集落排水事業〔機能強化対策〕について

□ 最適整備構想(市町のマスタープラン)に基づき、施設の整備や補修・改築に取り組みましょう。

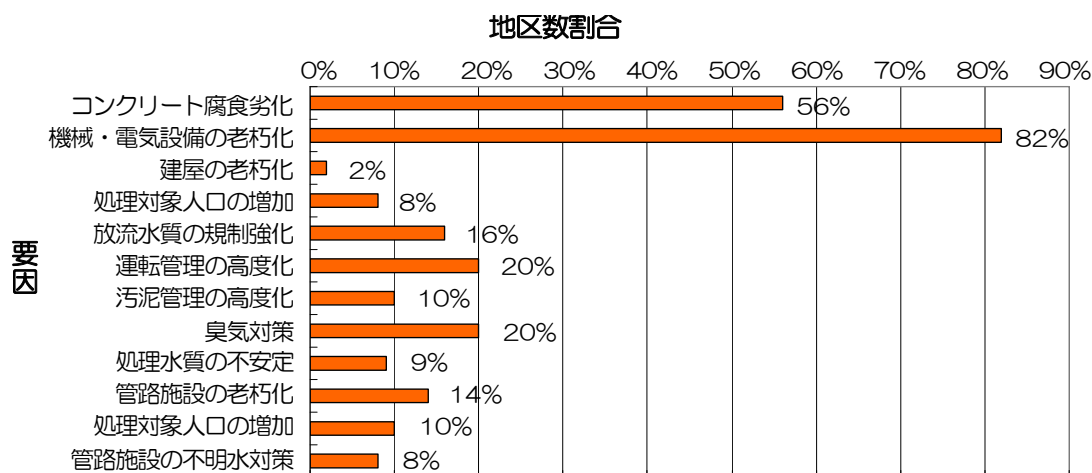
農業集落排水施設は、機能診断調査を実施して最適整備構想を策定のうえ、その構想に基づき補修・改築や整備を行うこととなります。原則として供用開始後7年以上経過し、補修・改築費用が200万円以上要する施設は、農業集落排水事業〔機能強化対策〕で補修・改築が可能です。

また、本年度の拡充事項として、農業集落排水施設への太陽光発電施設の単独設置(農業集落排水施設へ電力を直接供給するものに限る)ができます。設置可能な太陽光発電施設の規模(発電能力)は、当該農業集落排水施設の運転・操作等に必要な出力の総和、または、年間需要電力量の総和と概ね同水準、または、それ以下となっています。

○ 農業集落排水施設の機能強化の要因

農業集落排水施設の老朽化に伴い、多くの市町村で機能強化に取り組んでいます。機能強化の要因は、機械・電気設備の老朽化(82%)、コンクリートの腐食劣化(56%)、運転管理の高度化(20%)、臭気対策(20%)の順となっています。

機能強化対策の要因別割合(H13~H23年度採択地区)



劣化や老朽化の具体例



機器(破碎機)の閉塞



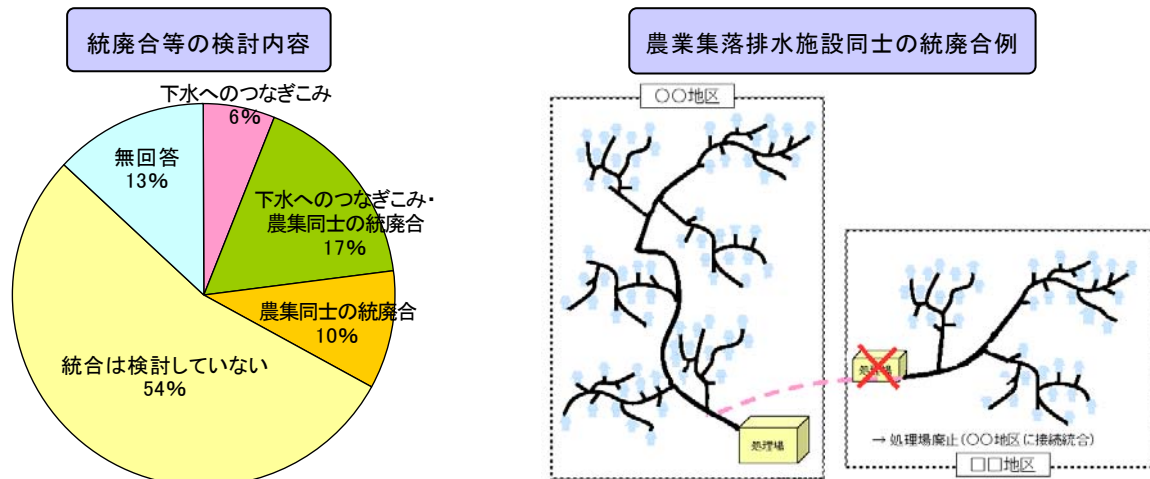
コンクリートの粗骨材の露出、部分的な剥離



コンクリート防食被覆のふくれ、剥がれ

○農業集落排水施設の統廃合

厳しい財政事情の中、維持管理コストの縮減や老朽化施設の改築を推進するため、農業集落排水施設の統廃合についても、地域ごとの特徴や住民の意見を踏まえつつ、検討することも必要となっています。



○農業集落排水事業[機能強化対策]の補助内容

区 分	補 助 率			主 な 要 件 等
	国 費	県 費	市 町 受益者	
農業集落排水事業 [機能強化対策]	50 %	15 %	35 %	<ul style="list-style-type: none"> ・補修、改築に要する費用が200万円以上 ・維持管理が適切に行われている施設であり、原則として供用開始後7年以上経過していること ・供用開始後に汚水処理の対象人口の著しい増加、処理水の水質基準の強化、その他既存の農業集落排水施設を取り巻く条件または環境の変化が認められるもの

○農業集落排水事業(耐震対策) H26年度拡充

【調査設計及びストックマネジメントの取組への支援】

既存施設の更新または改造の要否、工法等についての調査診断及び最適整備構想策定に必要な業務として、施設の重要度などから耐震診断の必要性が整理される場合には、機能診断と併せて耐震診断を実施することが可能です。



【耐震対策への支援】

改築に要する費用が200万円以上であって、原則として供用開始後7年以上経過している施設については、施設の重要度などから耐震対策の必要性や妥当性が認められる場合には、改築事業において耐震対策を行うことが可能です。

農業集落排水事業に関するお問い合わせは、水土里ネット香川へお気軽に。

田んぼの学校・かかし作り

三豊市立笠田小学校（宮武昭一校長）では、地域住民で組織する「笠田松寿会」（十鳥茂義会長）の協力のもと、5年生児童が米づくり学習に取り組んでおり、その一環として、9月12日に児童25名が初めての“かかし作り”に挑戦した。児童から提案された27案の中から投票で選ばれた上位4案のデザインをもとに、竹や新聞、布、綿、針金を使って素体を作り、持ち寄った衣服や帽子を着せた“かかし”を「米命守隊^{こめいのちまもりたい}」と名付け、学校近くの実習田に見守り役として立てた。

お米を守ろう大作戦



第7回コスモス祭り開催

野間田東環境保全組合

9月28日、多面的機能支払交付金事業に取り組む野間田東環境保全組合主催による「第7回コスモス祭り」がさぬき市造田野間田「水辺の里・蓮池広場」において開催された。

この日は、天候に恵まれ、会場には竹で作った花瓶にコスモスを生けた作品や子供達の絵画が展示されるとともに、郷土料理であるドジョウ汁が振る舞われ、大勢の参加者で賑わった。広場では、景観対策として蓮池の堤体に彼岸花や水仙、農地にひまわりやコスモス、菜花が植栽され、年間を通して花が楽しめるなど地域活動が定着している。



～土地改良区だより～

高松市西植田土地改良区（高松市）

高松市西植田土地改良区は、旧行政単位の西植田町、池田町を管内として昭和30年2月に設立された。その後、附帯県営かんがい排水事業『香川用水地区』通谷支線を実施するため、三谷町の一部を加え、現在に至っている。

当土地改良区の所管区域は、県都高松市の南東部に位置し、讃岐山脈を背に南北約11キロメートル、東西約5キロメートルの自然豊かな純農村地域である。また、管内中央部を流れる二級河川「春日川」は「葛谷川」（松尾池の源流）及び「天満川」（神内池、



改良区管内の3町に跨る上佐山

神内上池の源流）を合流しながら北方へ流下している。しかしながら、当地域は瀬戸内海式気候に属することから、降水量が少なく、河川はあるが水量は乏しいため、上鯨越池をはじめとする、大小約400箇所ものため池が築かれており、渇水に苦しみ、水を求めた先人達の苦勞が偲ばれる。

管内の農地は、讃岐山脈山麓の洪積台地や春日川に沿った沖積平野の平坦地域を中心に拓かれ、厳しい営農条件下にあるが、適切に保全・活用されている神村地域をはじめ、葛谷地域や中谷地域など急傾斜の山間地における棚田約46ヘクタールを加えると、現在、水田、畑合わせて425.8ヘクタールとなっている。なお、ほ場整備された農地は約70ヘクタールで全農地の16%余を占める状況にある。

また、管内農業は、恵まれた気候や肥沃な土壌条件など各種条件を活かし、効率的に農地を活用してコシヒカリなどの良質米をはじめ、麦、茶、ナバナやブロッコリーなど多品目の野菜が栽培され、高松市民はもとより、広く京浜や京阪神地域の食料生産基地として活発に展開されている。



上鯨越池



泉川定信理事長

これらの恵まれた自然及び地理的条件を活かすため、当土地改良区は、農業の近代化や農業生産性の向上等を目的とする農業農村整備事業の中核的の事業主体として、地域農業の振興と魅力ある農村の実現を目指し、農道の整備をはじめ、農業用排水路やため池などの農業生産基盤の整備はもとより、農業集落道や集落排水路などの生活環境基盤の整備にも積極的に取り組んでいる。今後においても、役職員が一丸となり、農業生産性の向上等による地域農業の発展や生活環境の整備に、より一層努めることとしている。

土地改良区の概要

所在地	高松市西植田町 1131 番地 1
設立年月日等	昭和 30 年 2 月 19 日 香川県第 204 号
関係市町	高松市
管内農地面積	425.8ha（田 325.5ha 畑 100.3ha）
組合員数	717 人（総代 32 名）
役職員数	理事 8 人 監事 3 人 職員 1 人

お知らせ

技術力向上事業研修会

土地改良区役職員等の技術力向上と運営体制強化の総合的な推進を目的に、研修会を開催します。

日程：11月7日（東讃事務所）・13日（中讃事務所）・14日（西讃事務所）

換地計画実務研修会

市町及び土地改良区役職員の換地業務等に関する知識の向上を目的に、研修会を開催します。

日程：12月4日（東讃事務所）・5日（中讃事務所）

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
9月11日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者研修会及び全国ため池等整備事業推進協議会総会	東京都
〃	農業集落排水施設の最適整備構想策定支援システム操作講習会	東京都
〃	香川県集落営農・農地活用推進プロジェクトチーム会議（第3回）	高松市
13日	矢延平六追悼法要（香川町浅野土地改良区）	高松市
14日	新池神事例祭（香川町浅野土地改良区）	高松市
18日 ～19日	換地関係異議紛争処理対策検討会（中国四国ブロック）	島根県
19日	土地改良工事価格積算基準改正説明会	高松市
22日	香川県農業会議常任会議員会議	高松市
24日	多面的機能支払交付金に係る管内担当者会議	岡山市
29日 ～10月1日	小水力等発電導入技術力向上中央研修（第2回）	東京都
10月1日	香川県農業会議賛助団体会議	高松市
6日	香川県農地利用集積推進対策会	高松市
7日	香川県水土里情報利活用促進協議会幹事会並びに総会	丸亀市